



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：救急科・救命救急センター 羽田 佑

【研究責任者】

聖路加国際病院 救急科 羽田 佑

院外心停止に対する体外循環式心肺蘇生法（ECPR）後の 強心薬ドブタミン使用に関する研究

1.研究の対象

2013年1月1日～2018年12月31日に病院外で心停止となり、経皮的人工心肺装置による蘇生行為が行われた18歳以上の方で、SAVE-J II study（2018年度に実施された観察研究：当院整理番号18-R188）に登録された方

2.研究の目的・方法

病院外心停止で経皮的人工心肺による蘇生処置が行われた患者さんの登録データ（SAVE-J II study）を利用し、蘇生後の強心薬としてドブタミン投与を要した症例の患者さんの背景、転帰、予後因子を検討することを目的としています。

この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、データセットに登録されている内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長の実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、病院前情報、来院時情報、治療時情報、補助循環、搬送等時間情報、体温管理、集中治療室入室後経過、転帰、等